

米づくり情報 第7号

令和5年8月14日

平坦部(佐賀県農業試験研究センター)

本年産水稻の生育状況(8月14日)

移植日	項目 品種	年次	草丈	茎数	葉齢	葉色	概況 (平年と比較して)
			cm	本/m ²	L	SPAD	
6月19日	夢しずく	本年	90.4	417	13.8	38.9	[気象] 8月7日~8月13日まで ◆平均気温…平年より0.6℃高い ◆日照時間…少ない(平年比87%) ◆降水量…多い(平年比113%) [生育] ◆草丈 「さがびより」は平年並み、「夢しずく」「ヒノヒカリ」はやや低く、「ヒヨクモチ」はやや高い。 ◆茎数 「夢しずく」「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」は多い。「さがびより」はやや少ない。 ◆葉齢 「夢しずく」「ヒヨクモチ」はやや進んでおり、「ヒノヒカリ」「さがびより」は平年並み ◆葉色(SPAD値) 「夢しずく」「ヒノヒカリ」は高い、「さがびより」「ヒヨクモチ」はやや高い。
		平年	94.2	392	13.3	36.6	
		平年比(差)	96	106	+0.5	+2.3	
	ヒノヒカリ	本年	80.8	516	13.4	40.5	
		平年	83.7	476	13.5	36.2	
		平年比(差)	97	109	-0.1	+4.3	
6月20日	さがびより	本年	78.9	466	13.7	36.6	
		平年	79.3	476	13.7	35.7	
		平年比(差)	99	98	±0	+0.9	
	ヒヨクモチ	本年	74.5	762	14.5	37.2	
		平年	71.9	607	13.9	35.7	
		平年比(差)	104	126	+0.6	+1.5	
留意点	○ 「さがびより」及び「ヒヨクモチ」は穂肥の時期をまもなく迎える。穂肥診断に基づき施用する。 (農試の8/14 現在幼穂長は「さがびより」2.7mm、「ヒヨクモチ」0.5mm) ○ 水管理は、穂肥施用時の湛水管理を除き、引き続き間断灌水を行う。 ○ トビイロウンカ、いもち病、紋枯病の発生に注意し、的確な防除を行う。						

- 注1)「夢しずく」、「ヒノヒカリ」は、6月19日移植の稚苗(播種期5/25, 播種量 湿粳 180g/箱)
 「さがびより」、「ヒヨクモチ」は、6月20日移植の稚苗(播種期5/26 播種量 湿粳 180g/箱)
- 2)栽植密度: 「夢しずく」は、条間30cm×株間17cm, 19.6株/m²(65株/坪)
 「さがびより」は、条間30cm×株間20cm, 16.7株/m²(55株/坪)
 「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」は、条間30cm×株間15cm, 22.2株/m²(73株/坪)
- 3)栽培管理: 施肥法は県基準に準じ、防除他はセンターの慣行による。
- 4)概況欄の【草丈】、【茎数】の平年値との比較については、以下のように定義している。
 低い(少ない): 94以下、やや低い(やや少ない): 95~98、平年並み: 99~101、
 やや高い(やや多い): 102~105、高い(多い): 106以上。
- 5)平年値は、収量について過去の全試験年次の標準偏差(σ)を算出し、±1σの外側にある年次を除く年次の過去データから算出した8月14日の数値を記載。ただし、「夢しずく」の平年値は過去データから算出した数値から求めた近似式を用いて算出したもの。

【窒素の時期別施用量(N kg/10a)】

品 種	基 肥	中 追	穂肥 I	穂肥 II	実 肥
夢しずく	3.0	0.0	2.0 (7月29日)	—	—
ヒノヒカリ	4.0	2.0 (7月8日)	3.0 (8月7日)	—	—
さがびより	5.0	0.0	2.0 (8月14日)	—	—
ヒヨクモチ	4.0	3.0 (7月13日)	4.0	1.5	1.5

※括弧内の日付は農試作況圃場における施用日

【農試作況圃場における幼穂形成始期と出穂期】

品 種	幼穂形成始期(主茎幼穂長 1mm)		出穂期	
	本年(平年差)	平年	本年(平年差)	平年
夢しずく	7月28日 (±0)	7月28日	未	8月17日
ヒノヒカリ	8月7日 (+2)	8月5日	未	8月27日
さがびより	8月11日 (+2)	8月9日	未	9月1日
ヒヨクモチ	未	8月14日	未	9月6日

令和5年産 稲作期間気象図

アメダス観測値(佐賀)

農業試験研究センター
作物栽培研究担当

